

**学校教育目標**

ふるさとを誇りに 夢や目標に向かって 主体的に生きる 児童の育成

**目指す学校像**

- ◎子どもの元気と笑顔、活力を地域に届ける学校  
(矢立笑活”校)
- ◎地域と学校が連携・協働で子どもを育てる学校

**受け継がれる子ども像**

矢立杉林のように 大地にしっかりと根を張り合い それぞれが大空に向かって たくましく伸びる子ども

**目指すふるさとキャリア教育**

矢立の人・もの・こととの関わりを広げて～「プラス1」で主体性を伸ばす～  
「矢立笑活”校PJ」 カッコいい大人との出会い・カッコいい大館での心震える体験

**目指す授業**

- ◇子どもたちが試行錯誤し、根拠を明らかにして学ぶ授業(理解の深化)
- ◇子ども同士が助け合い、励まし合い、高め合う授業(学び合いの充実)
- ◇自らの努力や成果、学びの意義や価値を実感できる授業(自己肯定感と学ぶ意義)
- ◇一人一人の確かな見取りと適切な指導・支援のある授業(教師のファシリテート)

**重点事項**

- 1 基礎・基本の定着と説明する力の育成
- 2 効果的な2複式の学校運営
- 3 児童が主体となるPJ(プロジェクト)「プラス1」の活動
- 4 幼保・小中、地域施設等との連携

いつでもどこでも一人でも!

「なぜだろう?」不思議発見  
ハテナ解決



自分のためにもみんなのためにも!

【矢立っ子の合言葉】



【9月 学習発表会「校歌ダンス」】



【10月 本場大館きりたんぼまつり ステージ発表】



【10月 JA「ちゃぐりん」の取材 小島よしおさん来校】



【12月 創立151周年 6年生企画  
矢立小学校お誕生日会】

**ア**  
**児童の状況**

自己評価Aと外部評価の評価区分	きわめて良好	自己評価Bの評価基準	5	実現状況は極めてよく意識も高い／数値目標に対し100%以上達成
	良好		4	実現状況は良好で意欲もある／数値目標に対し80～99%達成
	おおむね良好		3	実現状況はおおむね良好／数値目標に対し60～79%達成
	やや不十分		2	実現状況はやや不十分で取組が不安定／数値目標に対し40～59%達成
	努力を要する		1	実現状況は不十分で努力を要する／数値目標に対し39%以下の達成

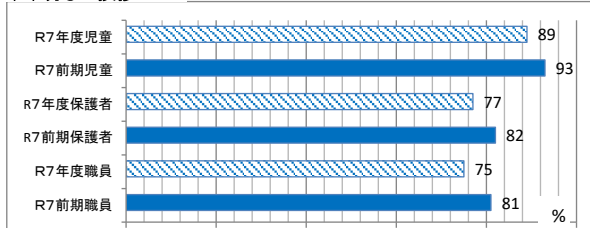
**I 自主的・自律的な生活**

児童生徒の状況		自己評価A	学校運営協議会委員評価	学校運営協議会委員のコメント
よりよく生活し安全に過ごすとする意欲と能力を高めている。	前期	おおむね良好	おおむね良好	あいさつのポイントを分かりやすく児童に伝えたり、声の大きさなど個人差をしっかりと捉えたりしながら取り組まれている。あいさつすることの意味や大切さを伝えながら、普段の声よりもはつととした、今の自分に「プラス1」したあいさつにつなげていってほしい。安全教育については、様々な取組をされている。引き続きお願いしたい。
	年度	おおむね良好	おおむね良好	
学 自 校 の 評 価 改 善 の 策 概 要 と	【前期(一年度)】	あいさつは、自分から自発的にできる子どもが多いが、個人差も見られる。あいさつ運動などの取組を通して、元気なあいさつを継続することを意識させていきたい。規則正しい生活については、メディアの利用による影響が大きいと考えられる。家庭との連携を図りながら、メディア利用に関するルールや目標を設定し、規則正しい生活ができるようにしたい。2学期にメディアコントロールについての学習会を行う予定である。安全面では、避難訓練や交通安全教室に関するこれまでの反省や助言をもとに、安全な環境づくりを行うとともに、子どもたちが正しい行動をとれるように指導していく。		
	【年度(一年度)】	あいさつは個人差が広がったように感じる。2・3学期の校長先生からのお話や今年度も行った「あいさつ標語コンテスト」を、あいさつをすることの意義や大切さを再認識するきっかけとし、日常でのあいさつに生かすことができるようにしたい。規則正しい生活については、引き続きONEONEカードを活用したり、メディアコントロール講習会で学んだことを生かしたりして、睡眠やメディアについての意識を高めていきたい。安全教育については、高い数値となっているが命に関わることもあるため、日頃からルールを守ることの大切さを伝えながら、機会を捉えて指導することや未然防止の取組を大切にしていきたい。		

評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B	
			前期	年度
1 基本的な生活習慣	(1) 明るい挨拶	・挨拶について考える場の設定 ・挨拶運動	3	3
	(2) 規則正しい生活	・家庭との連携(早寝、早起き、朝ご飯) ・始まるの時間を意識した学校生活		
2 集団生活・集団活動	(3) 自分の役割に責任をもつ態度の育成	・自ら進んで取り組む活動 ・家族の一員としての自覚	3	3
3 安全に過ごすための行動	(4) 安全教育の充実	・飛び出し防止の指導 ・交通安全教室 ・判断力を高める避難訓練	4	4

**【1に関するデータ】**

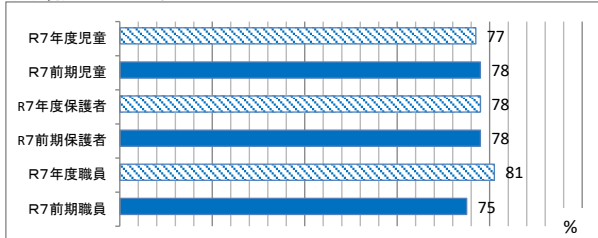
**(1) 明るい挨拶**



保護者アンケート記述より  
・あいさつをしても返ってこないことが多い。(他の子でも)  
・もっと元気がほしい。

・保護者・児童ともに評価が下がった。保護者からのご意見にもあるように、「元気に」や「誰にでも」という点は、私たち職員も物足りなさを感じていて、2・3学期の始業式には、校長から頑張ってもらいたいこととして挨拶について話した。個人差はあるが、低学年は児童同士の挨拶が見られるようになってきたし、名前を付けて丁寧な挨拶をしてくれる児童も増えてきた。しかし、「地域に笑顔と元気を届ける失笑活「校」」を目指すには、まだまだ、そのことを自覚している児童もおり、「プラス1」の目標として挨拶について掲げている児童も多いので、児童会活動を中心に盛り上げていけるよう、支援していきたい。

**(2) 規則正しい生活**

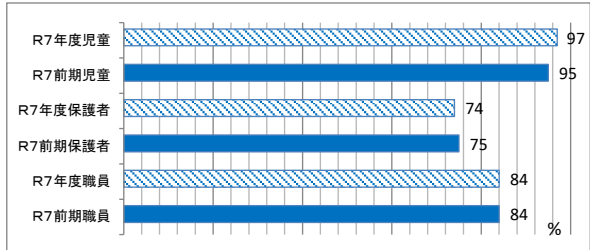


保護者アンケート記述より  
・寝る時間が不規則。(親の家事都合で)

・保護者・児童ともに80P以下の評価となっている。これは、市で共通して取り組んでいる「ONEONEカード」で、定期的に自分の生活について振り返りを行っているため、保護者はお子さんの課題を、児童は自分の課題を理解できているからだと思う。9月の結果からは「寝る時刻」について改善が見られたが、家庭の事情やメディアの使用等と関わって、「早寝」「早起き」が難しい児童も多い。冬休み前に行った「メディアコントロール講習会」は、メディアとの付き合い方について全校児童が考えるきっかけになったと思う。

**【2に関するデータ】**

**(3) 自分の役割に責任をもつ態度**



・児童は学校の係・当番活動はよく頑張っていると捉えているが、家庭ではお手伝いや自分の役割については「もう少し」と評価している。

・大館市で一斉に行っているメディアコントロール週間のカード(ONEONEカード)に、本校独自にお手伝いの項目を設け、「メディアコントロールをして生まれた時間を使ってお手伝いをしよう!」という取組を行っている。家庭にも協力を呼びかけてきた。また、2学期のPTA全体会で「冬休みにお家の方に頑張ってもらいたいこと」として、メディアコントロールと合わせて、その仕事が滞ると家族の生活が回っていかないような家事分担をして、取り組ませてほしいと呼びかけた。



【メディアコントロール講習会】  
※同日に学校保健委員会も開催



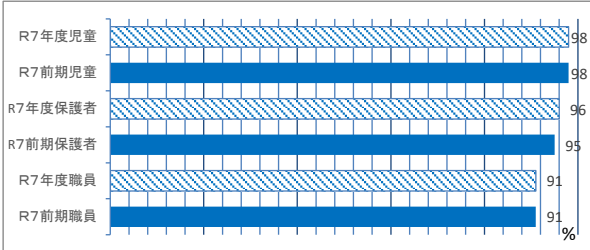
【縦割り清掃】



【親子防災教室  
段ボールベッドの組み立て】

**【3に関するデータ】**

**(4) 安全教育の充実**



・安全教育に関してはいずれも高い評価を得た。これは日頃の保護者や地域の諸団体等のご協力のおかげだと思う。特に今年度は、クマの出没が多発したが、登下校時の送迎を保護者にご協力いただいたことで、無事に過ごすことができた。また、保育所や公民館等と情報共有を密にできたので、速やかな対応ができたと思う。

・2学期末PTAの際には、大館市の出前講座を活用し、公民館にもご協力いただいて「親子防災教室」を開催した。防災についての講話を聴いたり、段ボールベッドや間仕切りの組み立て、防災食の試食等を行ったりして、防災について理解を深めることができた。

# ア 児童の状況

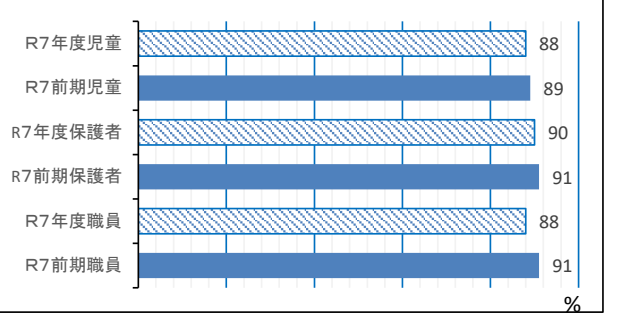
## II 思いやりの心・たくましい心

児童生徒の状況	自己評価A	学校運営協議会委員評価	学校運営協議会委員のコメント	
互いに認め合い、助け合いながら物事に取り組み、自分たちの力で解決していく活動の充実が図られている。	前期	おおむね良好	おおむね良好	様々な取組をされており、児童の頑張りや先生方の指導が感じられた。評価は「おおむね良好」であるが、アンケートのデータやまとめからも限りなく「良好」に近い。いじめ・諸問題についても、対策や対応がしっかりと取られている。問題発生時には、先生方がチームとして対応してくれたというコメントもあった。引き続き、丁寧な指導をお願いしたい。
	年度	おおむね良好	良好	感受性が高まる発達段階において、ちょっとした発言で傷つくこともあるかもしれないが、矢立小においては先生方が感じ取って声掛けをしたり、兆しを逃さずフォローしたりしている。6年生を送る会においても、児童が役割を全うしていた。
校自己改善策の概要と学校	<p>【前期(→年度)】 自己有用感、自分で気付くことに加えて、他人から感謝されたり認められたりすることで高まることも多い。全校での「サンキューがんばりの木」の記入や学級での帰りの会などを通して、お互いのよさを認め合えるようにしていく。また、学校行事の際には「かっこいい矢立っカード」を活用して、めあてをもって活動し、その後振り返ることで自身の頑張りや成長を実感できるようにしたい。</p> <p>いじめについては、日頃から子どもたちの様子を観察したり、教育相談やアンケートを実施したりして、未然防止と早期発見に努めていきたい。いじめを認知した際の対応も大切に、いじめゼロを目指すとともに、いじめ見逃しゼロを目指して対応していく。</p> <p>【年度(→次年度)】 学校行事で一人一人がよさを発揮できる場や役割を果たす場を設定したことで、自己有用感の高まりや達成感を味わうことにつながった。引き続き、学校行事を通して一人一人のよさを発揮できる場を設定しながら、その後振り返ることで自己の頑張りや成長に気付かせたい。いじめについては、日頃からの観察や教育相談を通して未然防止と早期発見に努めていく。そして、いじめが起こってしまった場合は、当該児童への対応や再発防止の取組を学校全体で行うことを大切にしていきたい。また、事実を明らかにし、いじめを見逃すことのないようにする。</p>			

評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B	
			前期	年度
4 共感し合う心	(5) 自己有用感をはぐむ集団づくり (6) いじめ、諸問題発生防止	<ul style="list-style-type: none"> <li>互いを認め合う学級づくり</li> <li>縦割り活動の充実</li> <li>早期発見の体制づくり</li> <li>家庭との連携</li> </ul>	3	3
5 一人一人のよさの発揮	(7) 達成感を味わえる活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>運動会、学習発表会、ふれあい集会などの学校行事</li> <li>自分のよさに気付く場の設定</li> </ul>	4	4

### 【4に関するデータ】

#### (5) 自己有用感をはぐむ集団づくり

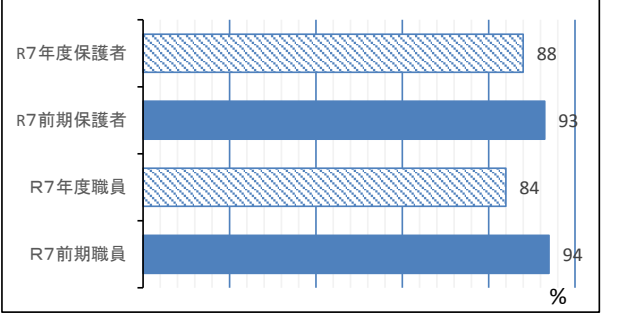


・児童アンケート「自分にはよいところがあると思う」の問いに、「あまりあてはまらない」「あてはまらない」と否定的に答えた児童が数人いることから、今後も互いのよさを認め合える場を設定し、継続していきたい。また、さらに児童が主体的に活動し、達成感や成就感を味わえるように支援していきたい。



【保育所との交流  
「焼きいもパーティー」】

#### (6) いじめ、諸問題発生防止



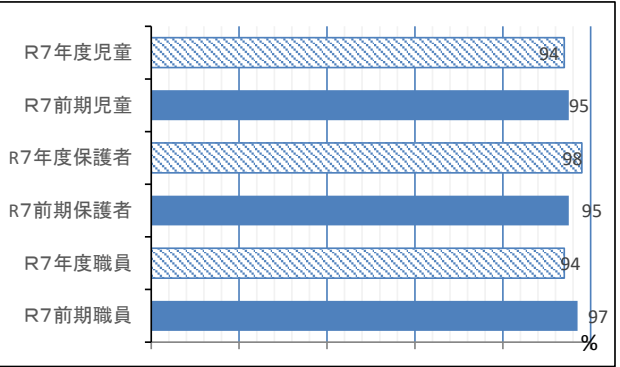
・前期と同様に、児童が安心・安全に過ごせる体制づくりをし、問題やトラブルが発生しないように、相談活動を充実させたり、校内での見守りを強化したりしている。またいじめ調査を行い、実態把握、相談の時間を設けて対応している。  
・保護者からの記述にあるように、言葉遣いについては、私たち職員も気になっており、その場ですぐ指導するようにしている。



【全校遊ぼうデー】

### 【5に関するデータ】

#### (7) 達成感を味わえる活動



保護者アンケートの記述より  
・基本的に安心して通わせているが、仲のよい友達同士での荒い言動を聞くことがあり、気にはなっている。



【学習発表】



【ふれあい集会「矢立っ子出店」】

保護者アンケートの記述より  
・子どもたちが主役となり、個性が光るような工夫がこらされていると思う。

・学習発表会後には、保護者からの記述にあるようなうれしい感想を多数いただき、私たち職員も励みになった。今年度取り入れている「かっこいい矢立っカード」には、行事等の活動の前に、自分が「プラス1」して取り組みたいことを記入し、活動後にそれを含めて振り返りを行っている。前期と同様に、めあてをもって活動に取り組んだことで、それを達成できたときの充実感を味わっているようだ。

## ア 児童の状況

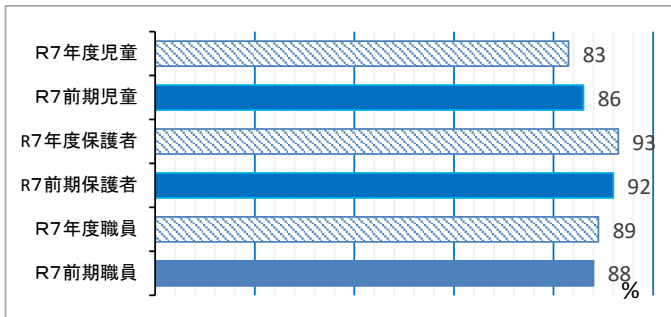
### Ⅲ 基礎学力

児童生徒の状況	自己評価A	学校運営協議会評価	学校運営協議会委員のコメント
児童一人一人が基本的学習習慣を身に付け、主体的に学習しながら学習内容を定着させている。	前期	おおむね良好	基礎学力について、児童の評価は前回に比べ下がっているようだが、先生方は児童の頑張りを認めている。一人一人の基礎的な学習を大切に、「難しいけれど、やってみたらできた」を積み重ねてほしい。
	年度	おおむね良好	良好
と自己評価の改の善概要	<p>【前期(→年度)】 今年度は、「数学的な見方・考え方」を働かせ、学びの意義を実感できる授業づくりを重点に掲げている。算数を中心に、授業内で「プラス1タイム」を設定して学んだ力を活用・発揮できる力を育成している。そして、学びから得た資質・能力を実生活や新たな問いへとつなげるために「振り返りタイム」の充実を図り、児童が学習の意義を見出し、自己の学びを発展させる力を育てている。アンケート結果から、これらの力が少しずつ伸びてきていることが分かった。さらに高まるように共通実践事項である4つの柱(理解の深化、学び合いの充実、自己肯定感と学ぶ意義、教師のファンリテート)を充実させ主題の達成を目指す。</p> <p>【年度(→次年度)】 日々の授業改善に努めた結果、児童が「数学的な見方・考え方」を働かせ、学びの意義を実感できる授業づくりに近づいてきた。4つの柱(理解の深化、学び合いの充実、自己肯定感と学ぶ意義、教師のファンリテート)の充実による成果だと考えられる。しかし、学力には個人差があり、少人数による学び合いの工夫は常に必要である。今後も児童の実態に合った取組を精査していき、基礎学力の底上げを図っていく。</p>		

評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B	
			前期	年度
5 基本的学習習慣	(8)基本的学習習慣の確立	・矢立っ子「学習の約束」 ・家庭読書の日の設定 ・ノート指導 ・家庭学習の習慣化 ・矢小タイムの充実	3	3
6 学力向上	(9)基礎的・基本的な内容の定着と説明する力の育成	・ドリル等を活用した反復練習 ・既習事項や資料、経験等を根拠にして説明する場の設定 ・各教科の見方・考え方を働かせて説明する姿が見える授業展開 ・教師の見取りの徹底	3	3

#### 【5に関するデータ】

##### (8)基本的学習習慣の確立



・児童アンケート「忘れ物をせず、準備を整えて学習した」の数値は前期と同様であった。個人差はあるものの、中・高学年にも「あまりできなかった」「全然できなかった」と評価している児童が多数いることから、学年が上がっても手と目をかけてほしいと保護者に働きかけている。



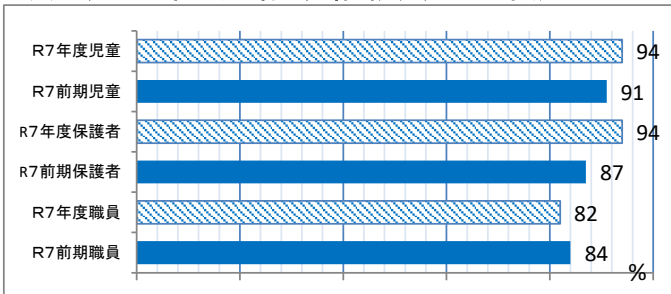
【釈迦内小との交流学習】



【花岡小との交流学習】

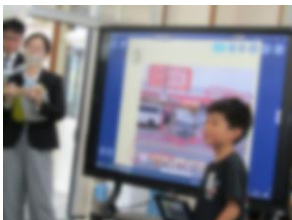
#### 【6に関するデータ】

##### (9)基礎的・基本的な内容の定着と説明する力の育成



・少人数の利点を最大限に生かし、児童が進んで学び合いながら、「分かった」「できた」と思える授業を進めている。また、釈迦内小・花岡小との合同授業や花岡小とのオンライン授業を通して、人数が多くなっても自分の力を発揮できる場を設定している。  
・児童用のタブレットが一人一台導入され、授業でも活用を試みている。日常的にドリル学習に使用して、基礎・基本の定着を図っている他、自分のノートや具体物等を操作する手元を大型モニターに映して説明する場面などに活用しているため、児童はICTの操作に慣れ、学年に応じて効果的に説明する力が付いてきた。

#### <授業の様子から>



【3年 社会】



【4・5年 算数】



【6年 算数】



【1年 特別活動】

## ア 児童の状況

### IV 健康と体力

学校の状況	自己評価A	学校運営協議会評価	学校運営協議会委員のコメント
児童一人一人に運動の機会を多く与え、家庭と連携して健康な生活習慣の形成に努めている。	前期	おおむね良好	歯磨き指導やメディアコントロール等の取組により意識付けはできているが、休みの日の家庭での習慣付けが難しいようである。引き続き、家庭と連携を図りながら取り組んでほしい。体力の向上では、児童のヒアリングからも運動面での伸びしろを感じた。児童数が少なく、友達と競い合う経験が不足してしまうが、体力つくりの活動を充実させ、児童の健康と体力の向上に努めてほしい。
	年度	おおむね良好	マラソン記録会やスキー教室などの体育的な行事や活動における姿から、健やかに成長していると感じる。特に、体力つくりの活動が充実しており、運動好きの児童が増えている様子である。しかし、生活習慣や休日の昼の歯磨き等、改善の余地がある課題も残っている。
自己評価の改善概要と	【前期(一年度)】		
	【年度(一次年度)】		

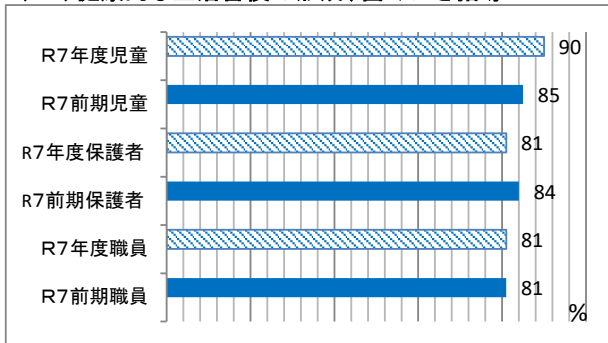
栄養教諭による「食に関する指導」を全学年へ実施したことで、少しでも好き嫌いせず食べる意識付けになったように感じる。歯みがき指導については、学校歯科医と連携を図りながら指導を継続していきたい。本校では、「早寝・早起き」が健康課題として明確になったため児童委員会と連携しながら「睡眠」に焦点を当てた指導を行う。また、外部講師による「メディアコントロール講習会」を2学期末に予定している。体力つくりについては、休み時間に体を動かして遊ぶ児童が多いため、引き続き安全管理に留意していきたい。

今年度、「睡眠」についての指導に力をいれたところ、9月のONEONEカードでは就寝の項目の達成率が6月に比較すると約16.5%アップした。また、児童委員会でも、早寝・早起きについて課題意識をもつことができた様子で「睡眠についての活動をもっと行いたい」との発言もみられた。今後、児童委員会を巻き込みながら、生活習慣改善についての指導を継続して行っていきたい。体力向上については、業間運動の推奨とあわせて、12月から徒歩通学が再開になり、徒歩での登校を頑張っている児童が多いので、十分安全に配慮していきたい。

評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B	
			前期	年度
8 保健指導	(10)健康的な生活習慣の形成	・早寝、早起き、朝ご飯、メディア等ONEONEカードの活用 ・給食、歯磨き指導	3	3
9 体力の向上	(11)体力づくり活動の充実	・業間運動の推進 ・外遊びの奨励 ・徒歩通学の推奨	3	3

### 【8に関するデータ】

#### (10)健康的な生活習慣の形成、歯みがき指導



保護者アンケートの記述より  
・休日の昼の歯みがきはなかなかできない。

・児童アンケート「好き嫌いせず何でも食べようとした」は、前期より10Pも評価が高くなった。これは、北給食センターの栄養教諭に食に関する指導をしていただいたり、児童会のSDGsの取組として、毎月「ペロリウィーク」を実施したりしてきた成果だと思う。個人差はあるが、4月当初より残食が減ってきたし、「かつこいい矢立っ子」を目指して、苦手なものも一口でも食べようとする姿が多く見られるようになった。

・歯みがきについては、大館市で一番むし歯の罹患率が高かった平成29年度からは、かなり改善されてきてはいるが、保護者からのご意見にあるように、昼の歯みがきが課題である。冬休み中の昼の歯みがきの達成率は、夏休みより若干上がったものの40%以下であった。学校歯科医の協力により、口腔写真の撮影をしての口腔の状態の評価や、歯科衛生士による歯みがき指導、歯みがきカードや歯科の受診で貯まる「歯っぴーコイン銀行」の取組等を行い、歯の健康についての指導を継続して行っている。



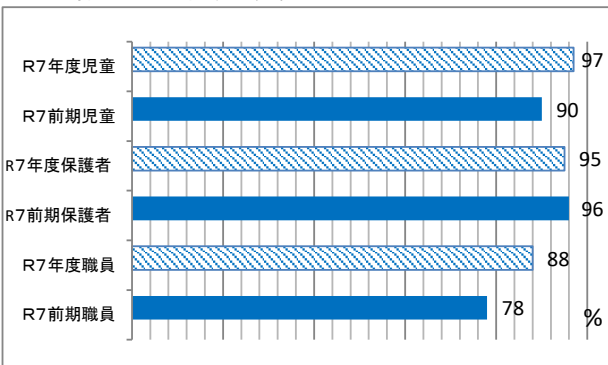
【歯科衛生士による歯みがき指導】



【「ペロリウィーク」の取組 (プロジェクト委員会)】

### 【9に関するデータ】

#### (11)体力づくり活動の充実



【マラソン記録会】



【スキー授業】

・夏の猛暑と秋のクマ騒動で、屋外での運動が制限される時期があったが、本校の児童は体を動かして遊ぶことを好み、学年が入り交じって体育館で球技をしたり、鬼ごっこをしたりして遊んでいる。業間運動として行っているマラソンや縄跳び運動は、カードを使い、目標をもって取り組めるように工夫してきた。寒くてもスキーの練習も頑張っている。

# イ 学校運営の状況

## V 組織運営及び保護者・地域との連携

学校の状況		自己評価A	学校運営協議会評価	学校運営協議会委員のコメント
学校に実情に合った経営がなされ、保護者、地域との連携が図られている。	前期	良好	良好	地域や保護者の方々の理解や協力を得ながら、活動が進められている。今後も継続して取り組んでほしい。
	年度	良好	良好	保護者、職員とも学校運営方針を理解して取り組んでいる。学習発表会や運動会などで校長先生が発信している「プラス1」が、その他の伝達方法も含めて、地域にも浸透している。こまめにメールで情報発信したり、ネットを利用しない地域の方々のためにも学校報を発行したりしている。地域連携についても、地域の素材を存分に活用して、矢立小学校区のよさをいかして活動している。

### 校自己改善評価の概要と学

#### 【前期(→年度)】

今年度も保護者や地域の方々のご理解とご協力を得て、農園活動、交通安全教室、プール清掃、クラブ活動など、充実した活動を行うことができています。また、恵まれた立地を生かして保育所や公民館と連携した活動や交流も行うことができた。すべての活動は子どもたちの有用感を高め、ふるさとへの愛着につながっている。地域の方のお話からは、矢立小学校の子どもたちへの関心と期待の高さを感じられた。今後もさらに矢立の人の・こととの関わりを広げられるよう、地域と連携・協働しながら学校運営を進めるとともに、児童の元気と笑顔、活力を地域に届けていきたい。

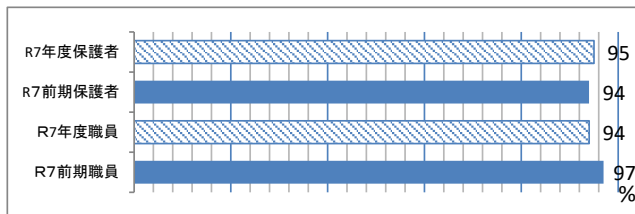
#### 【年度(→次年度)】

後期も保護者、お助け隊、地域の皆様のご協力を得て、様々な行事や体験活動に取り組むことができた。2学期PTAでは大館市の出前講座と矢立公民館の備蓄品を活用させていただき、「親子防災教室」を行った。地域探検では見学を通して地域のよさについて再発見することができた。矢立保育所との交流もこれまで以上に深めることができた。また、学習発表会、ふれあい集会等では、日頃お世話になっている方や地域の方々に感謝の気持ちと元気を届けることができた。今後も保護者・地域との連携を密にしながら、感謝を忘れず、ふるさとを大切に子どもたちを育成していきたい。

評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B	
			前期	年度
10 学校の明確な運営	(12) 経営方針や重点施策の明示	・経営方針、重点施策の明確化	4	4
11 開かれた学校	(13) 保護者・地域への情報発信	・学校だより、学級だよりの活用 ・諸活動の案内 ・HP、ブログ、緊急メールシステムの活用	4	4
12 PTA、地域、他校との連携(交)	(14) PTA、地域、関係機関との連携	・地域のよさを生かした活動(地域人材・施設の活用) ・PTA活動の充実 ・9年間のスパンでの実践事項 ・他校、保育所との交流学习	4	4

### 【10に関するデータ】

#### (12) 経営方針や重点施策の明示



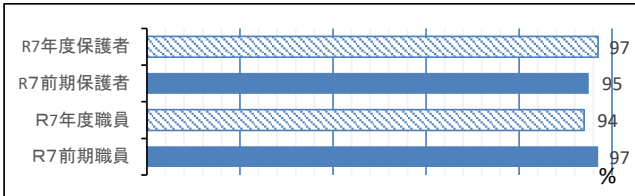
・保護者、職員とも高い数値である。児童には行事等のあいさつで、保護者や地域の皆様にはPTA、学校報等で、今年度の学校経営の方針や取組の状況、児童の様子等について伝えている。学習発表会後に寄せられた感想からは、児童の姿から今年度のキーワード「プラス1」の具現化を感じ取ってくださった方が多かったと受け取れた。



【2学期終業式・3学期始業式 校長から】

### 【11に関するデータ】

#### (13) 保護者・地域への情報発信



・保護者、職員とも高い数値である。4～6年生が交代で毎日書いているブログは、「矢立小から全世界に発信！」を合言葉に、見た人の目を引くような見出しを工夫して、学校の出来事を発信している。

・学校だよりは、紙面での配付の他にホームページにも載せているが、学級通信についても、新しい連絡ツールが導入されたので、保護者と相談しながらデータ送信等も検討していきたい。

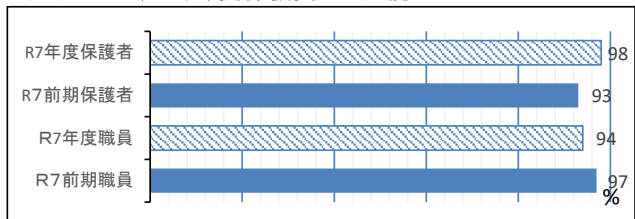
・引き続き報道機関も利用しながら、多方面に発信していきたい。

#### 保護者アンケートの記述より

・明るく楽しい学校生活の様子が伝わってくる。

### 【12に関するデータ】

#### (14) PTA、地域、関係機関との連携



【山内さんありがとうの会】



【地域探検(秋田ウッド)】

・児童アンケート「地域のために頑張ったと思うことがある」の評価が上がった。特に高学年の児童は「粕田酒こし舞」の披露を通じて、地域の方が喜んでくださっていることを間近に感じ、伝統芸能を継承していることに誇りをもてたようである。

・2学期は全校で地域探検を行ったほか、校外学習で地元の企業や施設などを訪ねる機会が多く、地域理解や地元愛の醸成につながったと思われる。

・保護者からのご意見にあることについては、年度末にPTA代議員会で話題にし、次年度につなげていきたい。

#### 保護者アンケートの記述より

・地域の高齢の方々の方をうまく活用し、充実に向けている。少子化で家族も少なく、共働き世帯が大半のため、PTAや保護者の負担は少なくしていくべきだと思う。